



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ツムラ
 コード番号 4540 URL <https://www.tsumura.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 加藤 照和
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション室長 (氏名) 犬飼 律子 (TEL) 03-6361-7100
 四半期報告書提出予定日 2023年2月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	107,076	8.8	17,723	△5.9	21,410	1.6	15,875	3.2
2022年3月期第3四半期	98,382	11.2	18,829	9.2	21,074	18.3	15,389	16.4

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 27,161百万円 (27.6%) 2022年3月期第3四半期 21,280百万円 (71.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	207.65	—
2022年3月期第3四半期	201.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	400,958	279,682	64.3
2022年3月期	350,981	258,109	68.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 257,773百万円 2022年3月期 239,770百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	32.00	—	32.00	64.00
2023年3月期	—	32.00	—		
2023年3月期（予想）				32.00	64.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	138,500	6.9	20,800	△7.0	21,200	△18.2	15,000	△20.4	196.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料の10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	76,758,362株	2022年3月期	76,758,362株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	367,282株	2022年3月期	251,343株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	76,451,360株	2022年3月期3Q	76,507,636株

(注) 当社は、当連結会計年度より役員報酬BIP信託を導入しております。これに伴い、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の連結業績は、以下のとおりとなりました。

[連結業績]

(単位：百万円)

	2021年 第3四半期	2022年 第3四半期	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	98,382	107,076	+8,694 (+8.8%)
国内	91,317	96,346	+5,029 (+5.5%)
海外	7,065	10,729	+3,664 (+51.9%)
売上原価	47,997	54,517	+6,519 (+13.6%)
販売費及び一般管理費	31,554	34,836	+3,281 (+10.4%)
営業利益	18,829	17,723	△1,106 (△5.9%)
経常利益	21,074	21,410	+335 (+1.6%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	15,389	15,875	+486 (+3.2%)

売上高は、前年同期と比べ8.8%増加し、107,076百万円となりました。

国内の売上高は、前年同期と比べ5.5%増加し、96,346百万円となりました。医療用漢方製剤129処方の売上高は、e-プロモーションの拡充を進めたことに加え、新型コロナウイルス感染時の症状（発熱、咳等）や後遺症（咳、倦怠感、不安等）に関連する処方及び7～8月の猛暑による季節性の症状（食欲不振、夏やせ等）に使われる処方が伸長した結果、前年同期と比べ5.3%増加しました。育薬処方^{*1}の合計は、前年同期と比べ1.0%増加し、主力である大建中湯は前年同期と比べ2.0%増加しました。Growing処方^{*2}の合計は、前年同期と比べ10.6%増加しました。

[育薬・Growing処方の売上高]

(単位：百万円)

	売上 順位	製品No. / 処方名	2021年 第3四半期	2022年 第3四半期	前年同期比	
育薬処方	1	100 大建中湯	7,334	7,482	+147	+2.0%
	3	54 抑肝散	5,678	5,687	+9	+0.2%
	4	43 六君子湯	5,548	5,644	+96	+1.7%
	8	107 牛車腎気丸	2,687	2,633	△54	△2.0%
	24	14 半夏瀉心湯	1,052	1,078	+26	+2.5%
育薬処方合計			22,301	22,527	+225	+1.0%
Growing処方	2	41 補中益気湯	5,655	6,096	+441	+7.8%
	5	17 五苓散	4,111	4,821	+710	+17.3%
	6	24 加味逍遙散	3,752	3,935	+183	+4.9%
	16	108 人参養栄湯	1,488	1,624	+135	+9.1%
	17	137 加味帰脾湯	1,332	1,600	+267	+20.1%
Growing処方合計			16,340	18,078	+1,738	+10.6%
育薬・Growing処方以外の119処方合計			48,650	51,335	+2,684	+5.5%
医療用漢方製剤129処方合計			87,293	91,941	+4,648	+5.3%

また、国内の一般用漢方製剤等の売上高は、取り扱い店舗数の拡大及び新型コロナウイルス感染時の症状に関連する処方が増加した結果、前年同期と比べ18.8%増加し、3,358百万円となりました。

海外の売上高は、原料生薬と飲片(刻み生薬)の販売を中心とする生薬プラットフォーム(平安津村薬業有限公司、深セン津村薬業有限公司等)の売上高が大きく寄与し、10,729百万円となりました。

売上原価は、売上高の伸長と原資材価格の高騰等により前年同期と比べ13.6%増加し、54,517百万円となりました。売上原価率は、前年同期と比べ2.1ポイント上昇し、50.9%となりました。

販売費及び一般管理費は、前年同期と比べ10.4%増加し、34,836百万円となりました。主に天津工場の稼働に向けた一時費用によるものです。販管費率は、前年同期と比べ0.4ポイント上昇し、32.5%となりました。

以上の結果、営業利益は前年同期と比べ5.9%減少し、17,723百万円となりました。営業利益率は、前年同期と比べ2.5ポイント低下し、16.6%となりました。経常利益は、為替差益の影響により、前年同期と比べ1.6%増加し、21,410百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、持分法適用関連会社であった四川川村中薬材有限公司の有償減資による払戻差益463百万円を特別利益として計上したことなどにより、前年同期と比べ3.2%増加し、15,875百万円となりました。

※1 育薬処方：

近年の疾病構造を見据え、医療ニーズの高い領域において新薬治療で難渋している疾患で、医療用漢方製剤が特異的に効果を発揮する疾患に的を絞り、エビデンス(科学的根拠)を確立する処方

※2 Growing処方：

育薬処方に続く戦略処方として、治療満足度や薬剤貢献度の低い領域でのエビデンス構築(安全性・有効性データ等)により診療ガイドライン収載を目指す処方

[新型コロナウイルス感染症等による業績への今後の影響について]

当第3四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症の流行拡大及び7～8月の猛暑等の季節的要因に伴い、想定を大きく超える受注が発生いたしました。今後の需給状況によっては品薄状態が発生する可能性も想定されるため、一部の処方について限定出荷を実施しております。なお、これら処方はずべて、従来から服用いただいている患者様には引き続き安定的にお届けできると考えていますが、今後、インフルエンザの流行と新型コロナウイルス感染症のさらなる拡大が生じた場合などには、需要のすべてにはお応えできなくなる可能性が考えられます。限定出荷解除の時期につきましては、生産計画と需要動向を鑑み決定する方針であり、現時点では3月末以降に順次解除の見通しです。引き続き社員一丸となって、安定供給に向けた生産体制の整備に尽力してまいります。

このような状況を踏まえ、通期の業績予想は年初計画通りとしております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は以下のとおりであります。

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は400,958百万円で、前連結会計年度末に比べ49,977百万円の増加となりました。流動資産は、社債の新規発行に伴う現金及び預金の増加等により、前連結会計年度末に比べて41,542百万円の増加となりました。固定資産は、有形固定資産の増加等により、前連結会計年度末に比べて8,434百万円の増加となりました。

負債合計は121,276百万円で、前連結会計年度末に比べて28,404百万円の増加となりました。流動負債は、未払法人税等の減少により、前連結会計年度末に比べて2,179百万円の減少となりました。固定負債は、社債の増加等により前連結会計年度末に比べて30,583百万円の増加となりました。

純資産合計は279,682百万円で、前連結会計年度末に比べて21,572百万円の増加となりました。株主資本は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べて10,308百万円の増加となりました。その他の包括利益累計額は、為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べて7,693百万円の増加となりました。また、非支配株主持分は、前連結会計年度末に比べて3,569百万円の増加となりました。

以上の結果、自己資本比率は4.0ポイント減少して、64.3%となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間は、営業活動によるキャッシュ・フローが8,930百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが12,425百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが24,456百万円の収入となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、8,930百万円の収入となりました。主な内訳は、収入項目では税金等調整前四半期純利益21,582百万円、支出項目では法人税等の支払額6,174百万円であります。前年同期との比較では、8,884百万円収入が減少しております。

投資活動によるキャッシュ・フローは、12,425百万円の支出となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出9,724百万円であります。前年同期との比較では、4,914百万円支出が増加しております。

財務活動によるキャッシュ・フローは、24,456百万円の収入となりました。主な内訳は、社債の発行による収入29,857百万円であります。前年同期との比較では、29,648百万円収入が増加しております。

その結果、現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて26,175百万円増加し、93,711百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年8月3日に公表しました2023年3月期の連結業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	67,552	93,729
受取手形及び売掛金	54,879	61,856
商品及び製品	10,247	9,077
仕掛品	13,614	14,072
原材料及び貯蔵品	68,889	77,929
その他	14,360	14,453
貸倒引当金	△123	△156
流動資産合計	229,420	270,962
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	89,563	92,509
その他	96,621	106,669
減価償却累計額	△96,143	△104,320
有形固定資産合計	90,040	94,857
無形固定資産		
のれん	8,513	9,215
その他	3,814	6,215
無形固定資産合計	12,328	15,431
投資その他の資産		
投資有価証券	10,184	10,430
退職給付に係る資産	2,842	3,164
その他	6,165	6,111
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	19,192	19,706
固定資産合計	121,561	129,995
資産合計	350,981	400,958
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,676	13,452
短期借入金	10,313	10,313
未払法人税等	3,271	1,760
その他	18,614	18,170
流動負債合計	45,875	43,696
固定負債		
社債	30,000	60,000
長期借入金	9,377	9,377
退職給付に係る負債	55	61
役員株式給付引当金	—	83
その他	7,563	8,058
固定負債合計	46,996	77,580
負債合計	92,871	121,276

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,142	30,142
資本剰余金	13,732	13,739
利益剰余金	182,929	193,617
自己株式	△682	△1,068
株主資本合計	226,121	236,430
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,324	2,489
繰延ヘッジ損益	2,020	△130
土地再評価差額金	2,673	2,673
為替換算調整勘定	6,911	16,587
退職給付に係る調整累計額	△280	△277
その他の包括利益累計額合計	13,648	21,342
非支配株主持分	18,339	21,909
純資産合計	258,109	279,682
負債純資産合計	350,981	400,958

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	98,382	107,076
売上原価	47,997	54,517
売上総利益	50,384	52,559
販売費及び一般管理費	31,554	34,836
営業利益	18,829	17,723
営業外収益		
受取利息	331	398
受取配当金	248	264
為替差益	1,421	2,906
その他	410	439
営業外収益合計	2,411	4,009
営業外費用		
支払利息	141	169
社債発行費	—	142
その他	25	10
営業外費用合計	166	323
経常利益	21,074	21,410
特別利益		
固定資産売却益	24	5
関係会社有償減資払戻差益	—	463
特別利益合計	24	469
特別損失		
固定資産売却損	0	3
固定資産除却損	392	35
新型コロナウイルス関連損失	—	257
特別損失合計	392	296
税金等調整前四半期純利益	20,705	21,582
法人税等	5,219	5,060
四半期純利益	15,486	16,521
非支配株主に帰属する四半期純利益	97	646
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,389	15,875

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	15,486	16,521
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,084	165
繰延ヘッジ損益	194	△2,150
為替換算調整勘定	6,626	12,691
退職給付に係る調整額	15	2
持分法適用会社に対する持分相当額	41	△69
その他の包括利益合計	5,793	10,639
四半期包括利益	21,280	27,161
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,680	23,569
非支配株主に係る四半期包括利益	1,599	3,591

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	20,705	21,582
減価償却費	6,496	7,578
のれん償却額	329	381
貸倒引当金の増減額(△は減少)	30	17
受取利息及び受取配当金	△580	△663
支払利息	141	169
社債発行費	—	142
有形固定資産除売却損益(△は益)	368	32
関係会社有償減資払戻差益	—	△463
売上債権の増減額(△は増加)	△5,048	△5,810
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,461	△773
仕入債務の増減額(△は減少)	2,193	△1,759
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△310	△324
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2	12
その他	2,516	△5,542
小計	24,383	14,581
利息及び配当金の受取額	583	671
利息の支払額	△171	△148
法人税等の支払額	△6,981	△6,174
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,815	8,930
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	1,727	7
有形固定資産の取得による支出	△8,407	△9,724
有形固定資産の売却による収入	58	22
無形固定資産の取得による支出	△295	△2,135
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△14,522	△9,713
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	14,514	9,705
子会社出資金の取得による支出	—	△388
貸付けによる支出	△0	△174
貸付金の回収による収入	1	175
その他	△586	△199
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,510	△12,425
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△168	—
長期借入れによる収入	9,377	—
長期借入金の返済による支出	△9,376	—
社債の発行による収入	—	29,857
自己株式の取得による支出	△2	△446
配当金の支払額	△4,887	△4,889
非支配株主への配当金の支払額	△87	△70
その他	△46	6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,192	24,456
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,289	5,213
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	7,402	26,175
現金及び現金同等物の期首残高	59,668	67,536
現金及び現金同等物の四半期末残高	67,070	93,711

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(原価差異の繰延処理)

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）または流動負債（その他）として繰り延べております。